

ラベルニュース

東京都ラベル印刷協同組合

☎111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

No391

平成 28 年 7 月号

編集:広報・情報システム委員会

TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

トモエ乳業とつくば宇宙センターなど見学

恒例の組合研修旅行

翌日は第 108 回ラベル会と袋田の滝等



ヒー、一〇〇%果汁、野菜飲料、カップ飲料など幅広い商品を製造しており、これ以外にも大手のメーカーのOEM製造もしており、日本全国の大半の牛乳、乳製品が同社の製造であることに驚きました。

また、さらに驚いたのはその品質管理で、タンクローリーで運ばれてきた原乳はこの時点で成分や最近などの厳しいチェックを受け、それに合格したもののだけが工場に受け入れられ、庫リファイヤーという機械で生乳を高速回転し、目に見えないゴミを取り、その後緒乳タンクへと送られる。

その後脂肪分を細かく粉砕して、一三〇度の高い温度で二秒殺菌し、その後貯乳タンクへ送られて充てん作業になる。

もっとも驚いたのは、製品として出荷されるまでに特別な検査員が二回も口も含んで味をチェックする官能脳検査という工程がある

ことで、ここで三人が三十以上の項目を口に含んでチェックして、三人がOKを出して初めて製品として出

荷されると聞いて一同はびっくりしました。



口に含んで品質をチェック

また、牛乳と乳製品の違いや、昔は風呂上りに飲んでいた「コーヒー牛乳」は現在ではコーヒー飲料として表示できないことや、紙パックの牛乳の開け口に木の込みがあるのは目の見えにくい人のためであること、開け口になる方には接着剤として使っているラミネートフィルムが薄く塗布されているために開けやすいことなど、様々なことを勉強

また、世界一五〇カ国から収集した、酪農乳業に関する珍しい品が五千点以上が展示されている、日本唯一の牛乳・乳業の博物館も見学しました。

恒例の組合研修旅行は、今年も六月十七日(土)、十八日(日)の二日間、茨城県で開催され、組合員、協賛会員の参加で、大いに盛り上がりました。

乳加工乳の処理販売及び食肉ハムの製造販売を開始し、昭和三十一年に牛乳専門メーカーとして再スタートを切り、平成二十五年の第二工場建設により、一市乳工場では現在日本一の規模を誇っているとの説明がありました。

また、同社は広告宣伝費は一切なく、その分低価格で商品を提供しており、牛乳から乳製品、アイスクー

一行は十七日の朝九時にバスで上野を出発、最初の見学先の茨城県古河市にある「トモエ乳業」の工場を見学しました。

到着後すぐに説明員さんから、同社は昭和十六年に

同博物館は牛の種類と進
化、牛と宗教、世界と日本
の酪農器具、世界と日本の
牛乳加工器具、牛乳の流通
器具、その他牛乳関連品の
六つのコーナーに分かれて
おり、日本だけでなく、世
界の牛乳の歴史が一目で分
かるようになっていました。



唯一の牛乳博物館も見学



つくば宇宙センターも見学

一行は最後にお土産ま
でいただき、次の見学先の
「つくば宇宙センター」に

向かい、日本の宇宙技術の
最先端を見学し、午後四時
前に宿泊先の「ロックヒル
ホテル」に到着しました。
午後六時から恒例の懇
親会となり、初めに平山理
事長が挨拶し、協賛会の恩
田博士の音頭で全員で乾杯
し、その後はカラオケ大会
となり、和やかな雰囲気の中、午後九時前にお開きと
なりました。

第一〇八回ラベル会 平山理事長が優勝

第一〇八回ラベル会は、
翌日の十八日(日) 午後八
時三十二分に、「ロックヒル
カントリー倶楽部 ロック
コース」に於いて開催され、
十八ホール、ストロークプ
レーで行われ、見事平山理
事長が四九、四六のグロス
九五、ネット七七で初優勝

しました。
ロックコースというだ
けあって、岩場を切り開い
て造成したゴルフ場で、コ
ースマネージメントに苦勞
する人が多かったようです。
成績は次の通り。

- 優勝・平山良一(四九、四
六 九五、~~五~~十八、~~五~~七
- 二位・松岡隆(四八、四
七 八二、~~五~~四、~~五~~八
- 三位・高橋範幸(四一、
四四 八五、~~五~~四、~~五~~八
- BB賞・栗原逸郎(五六、
五八 一一四、~~五~~二五、~~五~~八



第108回ラベル会 優勝した平山理事長



年次大会東京大会

新理事長による 特別座談会を開催

すでにご案内の通り、全
日本シール印刷協同組合連
合会(田中祐会長)主催の
「第五十九回年次大会東京
大会」は、来る10月13
日(金)に開催されますが、
このほど担当協組の東京都
正札シール印刷協同組合よ
り、当日のイベントについ
ての発表がありました。

それによると当日は式典
の前の午後二時から三時二
〇分まで、パネルディスカ
ッション形式による「全国
新理事長による特別座談会」
が開催されることになりま
した。テーマは左記の通り。

▽新理事長としての抱
負▽自身はなぜ組合員でい
るのか▽「理想と現実」▽
結局「メリット」とは何か
▽彼らはなぜ去ったのか▽
脱会理由から探る改革の糸
口▽連合会で始めるべき新
たなモノ・コト▽成功して
いる業界団体事例▽「こん
な組合なら必要ない」▽こ
れからの「組合の可能性」

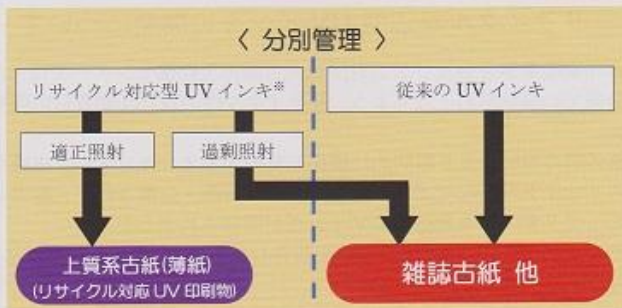
UV インキ印刷物の損紙・裁落の分別にご協力ください

リサイクル適性とエネルギー対策
備えた省エネ型 UV インキを

近年パンフレットやカタログなどの商業印刷にUV インキが使用されるケースが増加しているが、印刷工場、製本工場、光沢加工工場等から排出されるUV インキ印刷物の損紙・裁落が腰に混入し、それを原料とした印刷用紙の品質低下の原因になっていくことが問題視されています。

このため、紙リサイクル推進のためにUV インキ印刷物の損紙、裁落は、下図のように分別してほしいと、古紙リサイクル対応協議会から要望が出ています。

UV インキ印刷物の損紙・裁落は、下図のように分別して排出して下さい。



従来の UV インキ印刷物を古紙として再生した印刷用紙は黒斑点(ダート)が油性インキの1000倍も残っていたため、これが上質系古紙に混入すると、製紙工場のトラブルの原因となっていました。

一方、適正なUV照射で印刷したリサイクル対応型UV インキ印刷物を古紙として再生した印刷用紙は、

目に見える黒斑点は従来のUV インキの100分の1程度に抑えることができるようになった。

従来のUV インキ印刷物は、他の油性インキの印刷物と混在せず、雑誌古紙として排出するよう呼びかけています。

リサイクル対応型UV インキ印刷物は上質系古紙と(薄物)として排出することが出来ます。ただし、リサイクル対応型UV インキでも過剰に照射したり、複数回印刷した場合は、リサイクル適性が低下するため、雑誌古紙として排出するよう求められています。

■リサイクル対応型UV インキとは

従来のUV インキに対して、各インキメーカーが各種UV 印刷機に対応したリサイクル対応型UV インキを開発しました。リサイ

クル対応型UV インキには省エネルギー対応型高感度UV システムに対応した高感度UV インキもあります。リサイクル対応型UV インキを使用する際は、対応した印刷機及び適正なUV

照射ランプ数、UV 照射量(時間)で印刷することで、上質系古紙(薄紙)としてリサイクルできます。

リサイクル対応型UV インキ印刷物の損紙・裁落は、従来のUV インキ印刷物の損紙・裁落と分別して排出するようにしてください。

ただし、リサイクル対応型である高感度UV インキであっても、従来のUV 印刷機にかけるなど、UV 照射を過剰に行うと硬化が進み、リサイクルを阻害してしまいます。また、試し刷りなど複数回印刷機にかけた場合も同様にリサイクルを阻害することになります。

これらの硬化しすぎたりリサイクル対応型UV インキ印刷物の損紙・裁落は、従来のUV インキ印刷物と同様に雑誌古紙として排出してください。

リサイクル対応型UV インキの仕様に関する情報は、各インキメーカーに確認してください。

詳細は日本印刷産業連合会ホームページで。

<https://www.jfpi.or.jp/>

全日本シール印刷協同組合連合会
新会長に田中祐氏（山王テクノアーツ）が



新会長の田中祐氏

全日本シール印刷協同組合連合会は、五月二十九日に開催された「第五十八回通常総会」に於いて、任期満了に伴う役員改選で、新会長に東京都正札シール印刷協同組合副理事長で連合会専務理事の田中祐氏（山王テクノアーツ(株)社長）を選出しました。

総会は議長に田中浩一会長を選出して、各議案間審議に移り、平成二十九年事業計画など各議案すべてを可決承認し、任期満了に伴う役員改選では、新会長に東京都正札シール印刷協同組合副理事長の田中祐氏を選出しました。本来は各協組理事長の中から会長が選出されますが、正札シール組合は十月

に年次大会を控えているために、今年は大変で田中浩一理事長があと一年理事長に留まることになったため、副理事長の田中祐氏が新会長に選出されました。平成二十九年度の事業計画では、昨年「技術優良認定工場」制度で全国で二十三社が認定されたことを踏まえ、今年度は技術研修会を重視し、ライブ中継やストーリーミング配信を通じて、全国から一人でも多く参加してもらう事を企画していくことになった。

また、財政難という問題も避けて通れないため、今年度の予算案も、徹底的な無駄を省いた予算案となった。

田中新会長の挨拶(要旨)
「一点目は業界の水平連携、垂直連携、ハブ機能の強化で、全国九組合の横のつながりと関係官庁や日印産連などの縦の繋がりが、二点目は組合員の継続性に資する情報提供で、企業は

継続性が大事であり、脱退の多くの理由が廃業であり、全国の五五〇社の社員まで合わせるとその何倍もの人がいる。その人たちの生活を担っているのが我々であり、そのための情報提供が大事、三点目は健全かつ盤石な財務基盤の再確立で、何年も続いている財政赤字を何とか脱却して、会員からの賦課金や出資金を預かって運営している以上は、健全な状態で組合や連合会の組織運営を進めていく必要がある。以上の三点を方向性として目指していきたい。シール印刷業界全体を盛り上げていくよう、微力ながら邁進していく所存です」

新役員は次の通り。
■会長・田中祐(正札シール) ■副会長・有原常貴(北海道)、池原賢吾(東北)、田中浩一(正札シール)、平山良一(ラベル)、清水重行(神奈川県)、大河内康史(東海北陸)、大槻裕樹(京都)、疋田賢司(大阪)、坂本研一(九州)

この他に当組合からは弓納持昇氏が、連合会理事となりました。

連合会の委員会では当組から次の方々が委員として加わりました。
■技術・特許委員会・北島憲高 ■国際広報委員会・本間敏道 ■経営委員会・大澤雅純 ■環境委員会・清宮和夫

日印産連

印刷用紙の値上げ

に反対表明を提出

日本印刷産業連合会(山田雅義会長)は、製紙各社が今春より印刷用紙を十五円以上、情報用紙については一〇%以上値上げすると発表したことを受け六月五日、日本製紙連合会を訪問し、今回の印刷・情報用紙の値上げに対して、四月からの用紙値上げが印刷需要の縮小につながりかねず、結果としてさらなる用紙需要の減少を招きかねないことを説明の上、構成十団体との連名で反対表明を提出しました。
また、日印産連のホームページ上にも掲載しました。五面がその全文です。

日本製紙連合会 御中

印刷・情報用紙の値上げに対して反対します

一般社団法人 日本印刷産業連合会

印刷工業会

全日本印刷工業組合連合会

日本フォーム印刷工業連合会

一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

全日本製本工業組合連合会

日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会

全日本シール印刷協同組合連合会

全国グラビア協同組合連合会

全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会

全日本光沢化工紙協同組合連合会

今般、製紙各社は印刷用紙について 15 円以上、情報用紙について 10%以上値上げをすることを発表されました。用紙は印刷における原価の中で最も大きな割合を占めており、需要が減少している中での用紙価格の引き上げは、さらなる需要の減少に大きく影響を与えることは必須であります。

印刷出荷額については、1991 年をピークに下がり続けており、その減少に歯止めがかかっておりません。用紙の動向についても貴連合会のご報告の中にありますが、印刷・情報用紙の内需は 2006 年をピークに縮小が続いており、2016 年もマイナス幅は縮小したものの、10 年連続の減少とされております。その背景には出版市場の減速、印刷媒体から電子媒体への急速な移行、ペーパーレス化等があり、この分野の印刷媒体の市場規模の減少化は極めて深刻な実態にあります。印刷各社はこうした状況下にあっても顧客から求められる印刷媒体を、より高品質で低コストに提供するとともに環境への配慮や情報セキュリティへの取り組みを進めることにより、社会の期待に応えてまいりました。

このような中での今回の製紙各社における印刷用紙・情報用紙の値上げ要請は、印刷各社の努力を無にすると同時に、用紙の値上りが得意先の紙離れ・電子媒体への移行に拍車をかけることに繋がり、結果として印刷・情報用紙の内需及び印刷需要を大きく減少させることとなります。これ以上の加速的なマーケットのシュリンクによる紙の使用量の減少は、製紙業界にとっても、印刷産業界にとっても価格改定で挽回出来ない程のダメージになりかねません。また、同品種の巻取りと平判の非合理的な価格差も広がっています。これらについて、約 8,000 社の会員を抱える業界団体としては容認できるものではありません。今回の印刷・情報用紙値上げ要請に対して、日本印刷産業連合会及び印刷 10 団体は反対を表明いたします。

製紙業界と印刷産業界は常に両輪の関係であり、困難な状況に面しても今後益々の共通認識と相互理解を持って対処していくことを要望いたします。

以 上

■甲状腺の病気とは

甲状腺は首の輪状軟骨という骨の前にあるホルモンを作る臓器です。甲状腺に異常がない時は触ってもわかりませんが、何らかの病気を発症してしまったりは甲状腺は腫れてくるので判断は容易です。

No146 健康がいちばん!

意外と知らない甲状腺

バセドウ病、橋本病、腫瘍など

甲状腺がはれてしまう原因は以下のものが考えられます。

- ・バセドウ病
- ・橋本病
- ・甲状腺腫瘍

■バセドウ病とは

バセドウ病は甲状腺から分泌される甲状腺ホルモ

ンが多量に分泌され、全身

の代謝が高まる病気です。原因は血液中に TSH レセプター抗体 (TRAb) ができ

ることになります。この抗体が甲状腺を刺激し

続けてしまうことにより、甲状腺ホルモンが過剰に作

られてしまい、結果的にバセドウ病になってしまうの

です。また、家族に甲状腺の病気を患ったことがある人にこ

の病気も多いということを考えると、

遺伝的要因が関係していると言えるでしょう。

バセドウ病はホルモンの多量分泌により全身の代謝が

高まってしまいう病気なので、症状としては

・食欲があるのに体重が落ちる

・暑がり

・全身に汗をかき

・手足が震える

・甲状腺が腫れる

します。

バセドウ病は女性の100人に1人は発症すると言

われているので、決して稀な病気ではありません。

■橋本病とは

橋本病は甲状腺に炎症が起きて

いる病気ですが、細菌が入り込んで炎症を起

こすのではなく、自己免疫に異常により起こる炎症で

す。炎症といっても何年もかけてゆっくり進行して

いきますので、自覚症状に乏しく、顔面が腫れ

ばつたいもしくはむくんでしまうといったところから、

ようや橋本病に気が付くということも少なくありません。

その他、橋本病の症状としては記憶力の低下や便秘、

眠気、寒気などがあり、さらに症状が進行すると顔

面のむくみなどが出てきます。治療に関しては甲状腺

の機能が正常で、甲状腺腫もそれほど大きくなければ治療は特に行いません。

甲状腺の細胞が自律的に増殖して

できるものですが、外部から甲状腺が刺激されると過形成を起こして、や

はり甲状腺がはれます。甲状腺のガンは乳頭が

ん、濾胞がん、未分化がん、髄様がんがあり、

乳頭がんや濾胞がんは甲状腺の腫れ以外にほとん

ど自覚症状がない為、健康診断などで偶然発見さ

れるケースが多いようです。一方の未分化ガンは急速に

腫れが進行し、痛みや発熱などの症状が現れます。

さらに症状が進行してしま

うと、甲状腺が腫れてしまい、物がみ込みにく

くなったり、呼吸が苦しくなるなどの症状が現れます。

いずれの場合でも早めに内科や甲状腺化のある病院

で診察を受けることが大事です。

■甲状腺腫瘍とは

甲状腺腫瘍には良性的の

ものと悪性的のものがありま

す。良性の腫瘍に関しては、

《参考資料》

<http://wadaid107.com/>